

各位

マネックスグループ株式会社
 代表執行役社長 CEO 松本 大
 (コード番号 8698 東証プライム)

第15回「ART IN THE OFFICE 2022」選出作品完成のお知らせ

マネックスグループ株式会社(本社：東京都港区、代表執行役社長 松本大)が、社会貢献活動並びに社員啓発活動の一環として実施している「ART IN THE OFFICE」の2022年度受賞アーティストに平松可南子氏を決定し、このたび受賞作品が完成しましたのでお知らせします。本年度は、87の応募作品案の中から、円形のプレスルームの中心に、実際には存在しない「噴水」をイメージし、そこから新たな発想や考えが溢れ出し、新しい議論が生まれ、更新されるというアイデアをもとに、半立体的な絵画を組み合わせ、空間を捉えた抽象表現が高く評価され、平松可南子氏の作品「内側から見た噴水 | Fountain Seen from the Inside」が受賞作品として選出されました。

「ART IN THE OFFICE」は、現代アートが未開拓の表現を追求し、社会の様々な問題を提起する姿勢に共感し、当社を通じて現代アートの新進アーティストを支援する場づくりをしたいとの思いから、NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ[AIT/エイト]の運営協力を得て、2008年に生まれたプログラムです。また受賞アーティストの更なる活躍を期待すると共に、社員にとっても様々な価値観や考え方を認め合うことを大事にし、アーティストとの交流によって生まれる刺激から新しい着眼点を見出すことを促す狙いもあります。プログラムは今年、15周年という記念すべき年を迎えることができました。

今後も、企業理念に謳っている「MONEX とは MONEY の Y を一歩進め、一足先の未来における人の活動を表わす」ことを模索していきたいと思っています。



(写真) マネックスグループ株式会社 プレスルーム (GALAXY)
 「ART IN THE OFFICE 2022」作品 平松 可南子 / 「内側から見た噴水 | Fountain Seen from the Inside」 /
 2022年 / パネルにアクリル、色鉛筆、クレヨン / H1600×W8400×D40(mm)

◆作品および受賞アーティスト

1. 作品タイトル：「内側から見た噴水 | Fountain Seen from the Inside」
2. 「ART IN THE OFFICE 2022」受賞アーティスト 平松 可南子氏 プロフィール



1997年大阪府生まれ。2022年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画研究室修了。ペインティングやインスタレーションを表現手段とし、鑑賞の中で変容する経験を捉え直す試みを行っている。これまでの主な展覧会に、「Ghost of Peach」(2021年、とりときハウスギャラリー、東京)、「Innocent-P-」(2019年、京都国際会館、京都)、「Artist's Tideland KYOTO」(2019年、伊勢丹新宿、東京)などがある。2020年「京都造形芸術大学卒業展」奨励賞受賞。

3. 平松 可南子氏コメント

滞り制作中、この作品をどのように仕上げるかについてずっと考えていました。私は何年も絵を描き続けていますが、絵が完成する瞬間はいまだに毎回わかりません。それは、急に出来たと気が付いたりもするし、一旦完成したと思っても、次の日アトリエに来るとまた描き足したくなるような、曖昧な感覚です。

今回の最終的な仕上げのきっかけになったのは、社員の皆さんに向けたワークショップでした。ワークショップでは、絵を描く上で、まず線を引くとはどういうことかといった根本的な体験から始め、その後、私の描いた絵の上から自分の表現を重ねて描くという内容にしました。参加者からすると他の人の絵の上から描くという行為は、はじめての体験だったのではないかと思います。そういったはじめてのことに対する挑戦から生まれた、一人一人の解放されたストロークを私の絵に反映させたらどうなるだろうという興味から、ワークショップで皆さんが描いた絵の要素を、私が制作している噴水の作品に加えていきました。そうした絵の変化に応じるように私の筆もより一層進み、おそらく最初はなかなか入りづらい雰囲気だったプレスルームにも段々と人の出入りが増え、社員の方達と話す機会も増えました。ある体験が呼応し、自然と新たな出来事が起こる、色々なことはつながっているのだと思います。

内側からの噴水は、見ようと思えば実際に見ることができるし、その反面見るできない風景です。それはある種のフィクションでもあり、だからこそ想像できる余白の部分があります。そのような余白があったからこそ、絵を通して皆さんとの対話ができ、まだ誰も見たことがないマネックスだけの噴水が、この滞り制作の中で出来たと思っています。

◆受賞者の選考について

1. 「ART IN THE OFFICE」サポート内容

公募による応募作品の中から選出された1名(1組)のアーティストに対し、社内のプレスルームを応募作品の発表の場として約一年間提供します。選出されたアーティストには50万円の賞金および10万円の制作費が支払われる他、マネックスグループの統合報告書などへの本作品画像の掲載や、オリジナルノベルティのデザインに利用される予定です。本プログラムは、2019年に公益社団法人企業メセナ協議会の認定制度「This is MECENAT 2019」に選定され、2012年には公益財団法人日本デザイン振興会(JDP)が主催する「2012年度グッドデザイン賞」(Gマーク)を受賞している取組みです。

2. 選考条件

- ・ 現代アートの分野で活動するアーティスト(学生可)
- ・ 企業のプレスルームという空間の特徴を踏まえ、独自性・先駆性があること
- ・ 「一足先の未来における人の活動」というマネックスの企業理念を考慮したもの

3. 2022年度審査員(敬称略、五十音順)

塩見 有子 NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト] 理事長

染谷 卓郎 Takuro Someya Contemporary Art 代表

田中 みゆき キュレーター / プロデューサー

星 賢人 株式会社JobRainbow 代表取締役 CEO

松本 大 マネックスグループ株式会社 代表執行役社長 CEO

マネックスグループ ART IN THE OFFICE website :

https://www.monexgroup.jp/jp/esg/art_in_the_office.html

ART IN THE OFFICE 15周年特設 website :

https://www.monexgroup.jp/jp/esg/art_in_the_office/15th.html

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

(株主・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、相原 電話 03-4323-8698